

冬春きゅうりの機械選果スタート 翌6月までに3,200トンの出荷めざす

愛知県西尾市で『冬春きゅうり』が、
11月中旬より本格出荷を迎えます。

西尾市内の冬春きゅうり生産者で組織するJA西三河きゅうり部会(太田孝夫部会長)は、11月4日よりJA西三河あぐりセンター池田で令和3年産冬春きゅうりの機械選果を開始します。

露地栽培では夏に収穫されるキュウリですが、西尾市は加温したハウスで11月から翌年6月にかけて栽培する『冬春きゅうり』の栽培が盛んで、年間約3,000トンを生産する大産地。今年も11月初めから徐々に始まり、11月中下旬より本格出荷を迎えます。

選果場にある「キュウリ選果機」は、キュウリの曲がりや太さ・長さをカメラで瞬時に判別し、等階級別に選別。パート選果員は選果ラインにキュウリを並べたり、機械により等階級に選別されたキュウリを箱詰めする作業に取り組めます。

(写真) カメラで1本1本のキュウリの等階級を判別します



■取材対応日■

【日時】11月4日(水) 午前10時15分集合

【集合】JA西三河 あぐりセンター池田

(西尾市一色町池田東八反15)

※ 取材を希望される報道機関の方はJA西三河企画課の尾形までご連絡ください。

※ 機械選果初日のため、選果時間は1時間程度となります。

【作柄】(10月15日現在)

定植は9月下旬から10月上旬にかけて行われました。定植後は大きな天候の崩れがなく、順調に生育しています。出だしの作柄は11月までの日照量に大きく左右されますが、堅調に推移しそうです。



【お問い合わせ・ご連絡先】

JA西三河(西三河農業協同組合)

〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15

企画室企画課 広報担当: 尾形

TEL: 0563-56-5214 担当者携帯: 070-1414-6818

HP: <https://www.ja-nishimikawa.or.jp/>

Eメール: kikaku@ja-nishimikawa.com



《JA西三河ホームページ》
その他のニュースリリースは
こちらからご確認ください

※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関およびJAグループ愛知記者会あてに発行しています。
また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料(ニュースリリース)」ページにも掲載しています。

日本のキュウリ生産をリードする西尾市

～10㎡あたりの収量は25.8ト！全国トップレベルの反収を誇るヒミツ～



環境測定器「あぐりログBOX」(白い箱)と、スマートフォンで温度・湿度などを確認します

■西尾のキュウリ生産の特徴

市内の冬春きゅうり生産者で組織する「JA西三河きゅうり部会」は、施設園芸の生産者部会の中でも情報共有や技術革新にいち早く取り組み、他部会に先駆けて農業用ICTツール導入しています。部会員全員が環境測定器「あぐりログBOX」と食・農クラウド「Akisai(秋彩)」を導入。ハウス内の温度・湿度・CO2濃度の推移や、農薬・肥料の施用の情報を共有し、産地の高度化を図っています。

データを基にした部会員同士の情報交換も盛んで、若手就農者がベテラン農家並みの収量を達成することも。2014年から2018年にかけての反当たりの出荷量は15%アップしており、今年度は生産目標3,200ト・販売目標9億円を掲げて取り組みます。

今年で取組み6年目！

ICTを活用し「養液栽培※」の実証試験

JA西三河きゅうり部会は県やJAあいち経済連、種苗会社と連携を取り、農業情報通信技術(ICT)ツールを活用した養液栽培の実証試験に取り組んでいます。

※「養液栽培」とは、肥料を水に溶かした培養液で栽培する方法。
国内でのキュウリ生産は土耕栽培が主流であるため、また普及していません。

「養液栽培」で得られた根域環境データを産地で共有

土耕栽培へフィードバックして
部会全体のさらなる収量向上を目指します！

「あぐりBOX」が24時間集めたハウス内の環境データと、植物体(キュウリ)が吸収した水や肥料の量を把握することで、生育状況を予測して生育の最適化を実現！

西尾市では「JA西三河きゅうり部会」を組織するほか、JAあいち中央胡瓜生産部会とともに共販組織「西三河冬春きゅうり部会」を組織し、共通のブランド『三河みどり』の名前で販売しています。

【共販組織情報】

名称：西三河冬春きゅうり部会

部会員数：91人

(西尾市のJA西三河きゅうり部会、碧南・安城市中心のJAあいち中央胡瓜生産部会の2部会で構成)

出荷先：主に愛知県内の市場

出荷量：4,973ト(うち西尾市 2,559ト)

※2020年度実績、「三河みどり」ブランドのみ(加工品用出荷等含まず)

【全国の生産概況】

全国のきゅうり出荷量：474,700ト(うち冬春きゅうり：272,100ト)

愛知県のきゅうり出荷量：12,000ト(うち冬春きゅうり：10,300ト)

データ：農林水産省 作況調査(野菜)令和元年産公表資料

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_yasai/



西三河冬春きゅうり部会のキャラクター「きゅうりん。」